

らちしゅんいち
良知駿一

活動報告

第2号



ご挨拶

昨年の統一地方選におきまして浜松市北区から静岡県議会議員にご選出いただいた良知駿一です。

例年にない暖かい冬でありましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和2年2月定例会（議会）にて初の一般質問を終えて一年のイベントを一通り体験したことで、ようやく議員の仕事の感覚が掴め始めました。

引き続き、選挙時に私が訴えた点や皆様からのお話を元に、本会議や委員会での質問、当局とのやりとりを通じ、県として取り組むよう働きかけて参ります。



事務所のご案内



らちしゅんいち
静岡県議会議員 良知駿一

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7172-698
ラトゥール101

連絡先 TEL : 053-523-7400
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com
URL : <https://rachi-shunichi.jp/>



会議の進め方

左記の「一般質問」含め、会議の進め方をご説明します。県が仕事を進めるためには県議会の賛成が必要です。そのために議会を開き、県が提案した議案について審査します。

議案の提出

県の仕事の計画やお金の使い方を提案します。



①知事に質問

議会が開かれると、最初に知事から、県の仕事をする上での考え方や提出された議案についての説明を受けます。それについて、県議会委員が質問します。



議会

議会には決まった時期に開かれる「定例会」と、緊急の場合に開かれる「臨時会」があります。

定例会

2、6、9、12月の年4回開かれます。

臨時会

必要に応じて開かれるので、時期や回数は決まっていません。



②委員会で詳しく調査

議案や陳情を専門的に詳しく審査するため、常任委員会に送られます（委員会付託）。議員は7つの常任委員会のどれかに入って、受持ちの議案について、質問します。審査が終わると、委員会として議案に賛成か反対かを多数決で決定します。



議会審議されるものに、議案と陳情があります。

議案

議会で決定してもらうために議会へ提出された案件。県の仕事や、お金の使い方（予算）、県のきまり（条例）などについての議案があります。

陳情

県民が県議会に意見や要望を伝え、適切な対応を求めること。



③全員で採決

それぞれの委員会から、議案の調査について報告されます。質問や意見を出しあってから、議会として賛成か反対かを多数決で決定します。



本会議では、仕事やお金の使い方などの議案の他、「意見書・決議」も採決します。

意見書

県民のためになる意見を国などの関係機関へ提出し、その実現を求めるもの。

決議

「静岡県議会ではこう考える、こうして欲しい」といった、県議会の意思を表明するもの。

仕事の実行

賛成された議案について、計画にしたがって実行していきます。

令和2年2月定例会

本定例会では 77 件の議案が提出されました。令和元年度 2 月補正予算と令和 2 年度当初予算に関するものが中心です。

令和元年度 2 月補正予算では、「静岡県県有建築物長寿命化等推進基金の設置」に 75 億 72 百万円、「災害復旧・復興」「経済の下振れリスク対策」など 275 億 83 百万円(国補正分)が充てられます。

令和 2 年度当初予算は「人づくり・富づくりを加速するための重点的な取組」「生産性の高い持続可能な行財政運営」の方針のもとに、一般会計 1 兆 2,792 億円が編成され、さらに緊急的に補正予算 23 億 97 百万円が追加され「新型コロナウイルス感染症対策」に充てられます。

詳細は下のQRコードからご覧ください



一般質問

令和 2 年 2 月定例会では、県議会議員になって初めて一般質問で登壇する機会がありました。今回の一般質問の作成をとおし、改めて議場や委員会での質問の内容や仕方を再学習できました。また、消防団活動の質問においては議論が平行線を辿ってしまったので、今後どのように課題解決していくのか検討していきます。



一般質問の主な内容は以下の通りです。
(Q・要望が良知、Aが当局)

【産業分野における 5G の活用促進に向けた取り組みについて】

今年中に商用化が開始される次世代移動通信システム規格である5Gは、高速大容量、低遅延、多数同時接続という特徴を持ち、自動運転、遠隔医療、スマート農業等が可能になるとされている。

しかし、中小企業がその有用性を確認するためには、インフラ整備等大きなコストがかかるかと想定される。

県は産業分野における5Gの活用促進に向けどのように取り組んでいくのか？

「静岡県IoT推進ラボ」を県工業技術研究所に設立し、IoT導入支援拠点としての機能を活かしつつ、5Gの導入による利便性や生産性向上などのメリットとともに、初期投資やセキュリティ上の課題なども含めて、県内企業への情報提供に努めていく。

5Gにおいても、多数のセンサーを同時接続して農場の管理を自動化するスマート農業や、リアルタイムで遠隔地のロボットを操作する遠隔医療など、通信分野における技術開発力を持つスタートアップ企業と多様な分野の県内企業との協力関係の構築を促進し、5Gの社会実装を積み上げていく。

ICT活用事業においては常に投資するという感覚で臨んでもらい、最新の情報に対するアンテナを張り巡らしてもらいたい。

また、技術全体の話であるが最新の技術が常に一番良いとは限らない。ケースバイケースでコストも考えながら事業に活用してもらいたい。

静岡県議会のページから録画中継やその他の質問の議事録がご覧いただけます。



【消防団活動の課題と支援について】

消防団の団員確保は喫緊の課題である。団員として消防団活動に時間を割いていただくために、まずは活動を適正化し、その内容をご理解していただくことが最優先だと考える。

県は、消防団活動の課題をどのように認識し、支援していくのか？

県内の消防団員は減少傾向となっている。消防団を応援している事業所等に対して県税の軽減措置を講じている他、資機材等の整備や市町と連携して財政的な支援も行っていく。

消防団は就職先ではなく、絶対に入団する必要性はない。だからこそ、現代社会に即した意味のある・理解していただける活動内容に改めなくてはならない。然るべき組織に分団員の声を聞くように働きかけてもらいたい。

【エビデンスに基づく政策立案 (EBPM: Evidence Based Policy Making) のための人材育成について】

民間ではビッグデータを機械学習等で解析し、マーケティング等に活用している。経験則や勘ではなく、データに立脚して意思決定する時代となった。

しかし、行政組織に対して統計的なデータの分析能力を有する人材の不足、育成・確保の必要性が指摘されている。この課題に対して県はどのように取り組んでいくのか？

統計データを用いた事実や課題の把握、具体的な政策の事前・事後評価の基礎となる費用対効果分析手法などの習得を目的とした「EBPM実践講座」を今年度から開講し、新しい手法に基づいて政策立案を担う人材の育成を図っている。

また、ビッグデータを用いた分析など行政では知見の得られにくい、高度かつ専門的な知識や経験を要する業務については、今後、民間企業との人事交流や高い専門性を有する外部人材の活用などを進めていく。

最終的な結果を導くためにどのようなデータ分析をするのが適切なのか、この点をきちんと教育していただきたい。

建設委員会質疑

一般質問の他にも建設委員会(常任)での質疑を行いました。

数点ご紹介いたします。



委員会では以下のような質疑を交わしました。
(Qが良知、A当局)

【公共交通への自動運転の導入】

各地域で行われた自動運転の実証実験の総括と来年度の取り組みは？

県が取得して蓄積した 3 次元点群データをもとに作成した高精度 3 次元地図によって自動運転が可能になるということが示された。

沼津市では信号連動実験を行った。青の時間の延長、赤の時間の短縮等を行ったことにより運行の定時制確保にある程度の効果が認められた。

課題。特に松崎町では道路が狭く他車とのすれ違い。下田市では市街地の横断しようとしている歩行者への対応。沼津市では路上駐車への対応。

来年度は今年度の課題を踏まえ、今年度と同じように過疎地や都市部等で走行実験をしていきたい。特に見通しが悪くて狭隘な道路で事前待避のため対向車の情報を無線通信で自動運転車両に伝える技術の実証、あるいは自動運転車両を離れたところから監視する遠隔監視システムの実証など、新たな技術の実証についても計画に盛り込んでいきたい。



【無電柱化の推進】

なかなか進まない無電柱化事業の速度向上のための改善策は？

無電柱化は事業の手続きが煩雑で電線管理者との協議など、経験のない市町にとってはハードルが高い。この改善のためにワンストップ窓口を設け、その中で無電柱化に関する助言を行っていく。

無電柱化事業と他事業との連携について。

他事業とあわした無電柱化というのは工期の縮減などにかなり有効であるため積極的に考えている。

【浜名湖のマリンレジャーのルールについて】

水上オートバイは自主規制で岸から 200 メートル以上離れたところで遊走することになっているが、守られていないとの地元からの声がある。まずはしっかり啓発していくべきではないか？

ショップ等やイベント、地元密着の啓発活動に取り組んでいくことを検討していきたい。

一般質問や委員会質疑の詳細は右のQRコードからご覧ください。



ここまでの活動と今後の取組

私の政策の柱は「技術を生かして社会の課題解決にあたる」であり、この1年で多くのことを勉強しました。また、地元案件も含め、一般質問や委員会質疑等において選挙時にあげた公約にも取り組み始めました。今後も引き続き「技術」「交通」をはじめ地域の課題に取り組んでまいります。お困りのことがあればお気軽にご相談くださればと思います。